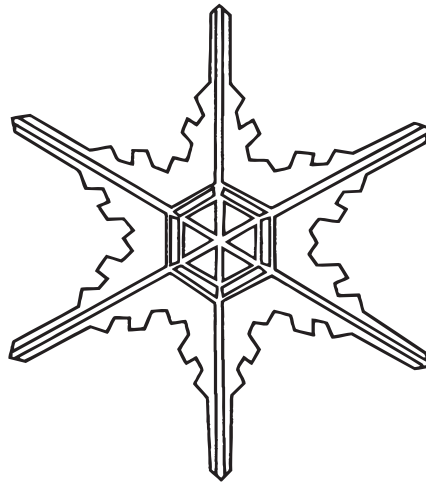


令和5年度

入学者募集要項

本 校(全日制・定時制)
最上校(全日制)



山形県立新庄北高等学校

本 校	山形県新庄市大字飛田字備前川61番地 〒996-0061	電 話 (0233) 22-6022 FAX (0233) 22-4961
最上校	山形県最上郡最上町大字向町字水上869番地の2 〒999-6101	電 話 (0233) 43-2349 FAX (0233) 43-2662

目 次

I	教育目標と学習内容の特色	P. 1
II	入学志願	P. 2
III	推薦入学者選抜（最上校）	P. 2
IV	一般入学者選抜（本校全日制、本校定時制、最上校） ..	P. 4
V	本校定時制における成人の志願者の選抜	P. 8
	令和5年度入学者教育課程（予定）	P. 10
	〔参考〕令和4年度入学者の諸経費等	P. 14

I 教育目標と学習内容の特色

新庄北高等学校には、本校に「全日制の課程(普通科)」と夜間の「定時制の課程(普通科)」があり、また、最上校に「全日制の課程(普通科)」があります。教育目標や学習内容の特色は次のとおりです。(なお、この「入学者募集要項」では、それぞれを「本校全日制」、「本校定時制」、「最上校」と表記しています)

1 教育目標

本校全日制・定時制

知・徳・体に調和のとれた豊かな人間性を育て、国家および社会の有為な形成者として、一人ひとりがその能力と特性をいかんなく発揮できる人材の育成を目指す。

- (1) 知性を磨き、創造力を育てる。
- (2) 地域への関心と視野を広め、個性の伸長を図る。
- (3) 旺盛な探究心・向上心を育てる。
- (4) 心身を鍛え、逞しい行動力を育てる。
- (5) 人間性を豊かにし、思いやりの心を育てる。

最上校

知・徳・体に調和のとれた豊かな人間性を育て、その能力と特性をいかんなく発揮して国家や地域社会の有為な形成者として貢献できる人材の育成を目指す。特に以下の力の育成に努める。

- (1) 強い心身としなやかに生きる力。
- (2) 豊かな人間性と人を思いやる優しさ。
- (3) 幅広い知性と創造力。
- (4) 主体性と旺盛な探求心。
- (5) 広い視野と成長意欲。

2 学習内容の特色

本校全日制

生徒の進路希望が達成できるよう教育課程を編成し、学力の充実向上に努めています。平成26年度から「進学型単位制高校」となり、一人ひとりの興味関心や進路希望にあわせた授業が選択できます。また、平成30年度からは探究コースを設置して、「思考力・判断力・表現力等」を育む探究型学習を推進しています。平成31年度(令和元年度)から文部科学省「地域との協働による高等学校教育改革推進事業(地域魅力化型)」の指定を受け、探究的な学びがさらに深まりました。特別活動にも力を注ぎ、教科学習との高いレベルでの両立を目指しながら、豊かな人間性と、社会の変化に主体的に対応する実践力を養う教育活動を行っています。

本校定時制

多様な生徒に対し、社会で必要とされる確かな学力と望ましい社会性を身につけることを目標に、基礎基本を大切に学習と体験的な活動に力を入れて教育活動を行っています。夜間の定時制として、働きながら学ぶことを奨励し、その両立ができる教育環境づくりに努めています。

なお、最上地区の県立高校再編整備計画(第2次計画)により、令和8年度に新庄北高校と新庄南高校普通科を統合して新庄新高校(仮称)を開校します。このため、令和5年度入学生で、令和7年度末の時点で新庄北高校定時制に在籍する生徒は、令和8年度に新庄新高校(仮称)定時制に転学することになります。また、新庄新高校(仮称)定時制については、令和9年度に現在の夜間定時制から昼間定時制に移行し、現在の新庄南高校の校舎で学習することになります。

最上校

上級学校進学希望者向けの「進学コース」、最上町社会福祉協議会が実施する介護職員初任者研修課程の受講を含む「福祉コース」、幅広い知識や教養の習得を目指す「教養コース」の3コースを3年時に設け、地域に貢献できる人材の育成を目指した教育を行っています。

※平成26年度から、本校全日制と最上校の間に「キャンパス制」が導入され、部活動・生徒会活動・学校行事の一部などの分野において、生徒同士の多彩な連携・交流が行なわれています。

Ⅱ 入学志願

山形県教育委員会公告に基づき、「令和５年度 山形県公立高等学校入学者選抜実施要項」に従って、入学者を募集します。（本校定時制における成人の志願者については、８ページを参照）

１ 入学定員

- 本 校 全日制 普通科 一般コース 160名 探究コース 40名
定時制 普通科 40名
- 最上校 全日制 普通科 40名

Ⅲ 推薦入学者選抜（最上校）

１ 募集する課程・学科、人員

全日制の課程・普通科、入学定員（40名）の50％以内。ただし、「山形県立高等学校小規模校入学者選抜における県外からの志願者受入れに関する要綱」による志願者の募集人員８名程度を含む。

２ 志願資格

次の各号に該当するものとする。

○県内志願者

- (1) 令和５年３月に県内の中学校、これに準ずる学校又は義務教育学校（以下「中学校」という）を卒業する見込みの者のうち、次の条件を満たす者。
 - ア 最上校の学習に対する強い志望があり、目的意識が明確・適切であること。
 - イ 最上校に対する適性、興味及び関心を有すること。
 - ウ 以下に示す「３ 出願要件」を満たしていること。
- (2) 合格した場合は、入学が確約できる者。

○県外からの志願者

- 令和５年３月に中学校、これに準ずる学校又は義務教育学校（以下「中学校」という）を卒業する見込みの者のうち、次の条件を満たす者。
- ア 以下に示す「３ 出願要件」を満たしていること。
 - イ 合格した場合は、入学が確約できる者。

３ 出願要件

○県内志願者

「１ 地域協働に係る要件」と２～４の要件のいずれか一つ以上に該当する者。

○県外からの志願者

「１ 地域協働に係る要件」及び「５ 県外からの志願に係る要件」と、２～４の要件のいずれか一つ以上に該当する者。

１ 地域協働に係る要件

- ・最上町の自然や文化に魅力を感じ、地域住民との触れ合いを大切にする者。
- ・地域の活性化のために、ボランティア活動等に積極的に取り組む者。

２ 成績評定概況に係る要件

- ・評定合計が23以上の者。

３ 特別活動に係る要件

- ・部活動や生徒会活動等において主体的に活動した者。

４ 校外活動に係る要件

- ・ボランティア活動や奉仕活動等において主体的に活動した者。

5 県外からの志願に係る要件

- ・最上町で学びたいという意欲を持ち、「最上町みらい留学生」に採用されている者。

4 出願手続き

- (1) 下記の提出書類を、中学校長を経由して本校校長へ提出する。

提出書類	備 考
①推薦入学願書	①、②の用紙は、本校で交付するものを使用する。①には、入学者選抜手数料として山形県収入証紙2,200円を貼る。ただし、消印はしないこと。 ④は進路等相談の後、当校校長がその提出を認めた時に提出する。 なお、④の用紙は本校で用意する。
②自己推薦書	
③調査書	
④自己申告書	

なお、中学校長は、上記書類の他に「推薦入学者選抜志願者名簿」及び「評定概況」を1部提出する。

ただし、「評定概況」については、県外からの志願者及び特別支援学校からの志願者については提出を要しない。

また、「山形県立高等学校小規模校入学者選抜における県外からの志願者受入れに関する要綱」による志願者については、「県外志願者受入れ校への届出書」、「当該都道府県の公立高等学校を志願しない旨の在籍中学校長の証明書」をそれぞれ添付すること。

- (2) 自己申告書は、進路等相談を踏まえ、本校校長が認めた場合に提出することができる。

(進路等相談期間は、令和5年1月17日(火)17時まで)

- (3) 書類の提出

受付期間は令和5年1月19日(木)から1月25日(水)12時までとし、受付場所を本校事務室とする(最上校では受付けないので注意すること)。郵送の場合でも、締切日時までに必着とする。なお、郵送の場合は簡易書留郵便とし、返信用切手404円分[郵送料84円及び簡易書留料金320円分]を貼った出願者本人の在籍中学校長あての返信用定形長3号封筒を同封すること。

〈出願書類の提出先〉

山形県立新庄北高等学校(本校) 〒996-0061 新庄市大字飛田字備前川61番地

5 作文及び面接

推薦入学志願者には、作文及び面接を次の要領で実施する。

- (1) 期 日 令和5年2月2日(木)

- (2) 会 場 最上校

- (3) 集合(受付) 9時から9時20分(開場9時)

- (4) 作 文 ①時間 50分 ②字数 600字程度

- (5) 面 接 ①形態 個人面接 ②時間 15分程度

- (6) 携 帯 品 受検票、鉛筆(シャープペンシルを含む)、消しゴム、上履き

※芯の濃さは2B、B、HBとし、シャープペンシルの芯の太さは0.5mm以上とする。

- (7) 日 程

受	説	作	休	面
付	明	文	憩	接
9:00～ 9:20		9:30～ 10:20		10:30～

検査は面接をもって、終了となります。

6 選 抜

選抜は、調査書、面接、作文等の結果を総合して行うものとする。

【選抜基準】

- (1) 配点比率（A調査書学習の記録：B調査書学習の記録以外：C面接：D作文）

A 20：B 20：C 30：D 30

- (2) 面接の評価

ア 評価の観点

- ① 目的意識が明確である。
- ② 主体的に取り組む姿勢がある。
- ③ 地域協働活動への興味・関心がある。

イ 評価の段階

A B C D の4段階

- (3) 作文の評価

ア 評価の観点

- ① 出題テーマに沿った内容である。
- ② 文章構成力がある。
- ③ 表記が丁寧で表現が適切である。

イ 評価の段階

A B C D の4段階

7 選抜結果の通知

令和5年2月9日(木) 中学校長あて必着で「推薦入学者選抜結果通知書」を送付する。また、合格内定者には中学校長を通じ「合格内定通知書」を送付する。ただし、合格者の発表は、令和5年3月17日(金) 10時（予定）に行う。

8 その他

県内志願者で推薦入学者選抜に漏れ、引き続き当校（最上校）の一般入学者選抜を志願する者は、新たに一般入学願書の提出が必要となる。ただし、入学者選抜手数料の納付は要しない。また他の公立高等学校への志願変更を希望する場合の手続きについては、「令和5年度山形県公立高等学校入学者選抜実施要項」による。

県外からの志願者については、推薦入学者選抜のみ実施し、一般入学者選抜は実施しない。

IV 一般入学者選抜（本校全日制、本校定時制、最上校）

1 志願資格

本校全日制及び最上校については、次の(1)から(3)のいずれかに該当し、原則として東学区・北学区内に居住する者（学区外からの志願については7ページの8(1)を参照）。本校定時制については、次の(1)から(3)のいずれかに該当し、原則として県内に居住する者。

- (1) 令和5年3月に中学校、これに準ずる学校又は義務教育学校を卒業見込みの者若しくは中等教育学校の前期課程（以下「中学校」という）を修了（以下「卒業」という）する見込みの者で令和5年度推薦入学者選抜及び中高一貫教育における連携型入学者選抜において合格内定していない者。
- (2) 中学校を卒業した者。
- (3) 学校教育法施行規則第95条の各号のいずれかに該当する者。

2 出願手続

- (1) 提出する書類

- ① 一般入学願書（用紙は当校で用意する）
 - (ア) 当校で定めた用紙に入学者選抜手数料として本校全日制及び最上校は2,200円、本校定時制は950円の山形県収入証紙（消印をしない）を貼って提出する。
 - (イ) 取消しや締切前の志願変更は、必ず公文書を添えて行う。
 - (ウ) 受検票は入学願書受付時に、在籍又は出身中学校長を通して交付する。
- ② 調査書（用紙は中学校で用意する）
 - (ア) 提出者は中学校長とする。
 - (イ) 県教育委員会で定めた様式で提出する。
- ③ 自己申告書（用紙は当校で用意する）
 - 進路等相談の後、当校校長がその提出を認めたときに提出する。
- ④ 評定概況（用紙は中学校で用意する）
 - (ア) 提出者は中学校長とする。
 - (イ) 県教育委員会で定めた様式で提出する。
- (2) 受付期間

令和5年2月15日(水)から2月21日(火)まで本校事務室で受け付ける（最上校志願者も本校に提出）。受付時間は9時から17時までとする。ただし、2月21日(火)は12時までとする。
 郵送の場合でも締切日時までに必着とする。郵送の場合は簡易書留郵便とし、返信用切手404円分（郵送料84円及び簡易書留料金320円分）を貼った出願者本人の在籍又は出身中学校長あての返信用定形長3号封筒を同封する。
- (3) 提出要領

一般入学者選抜志願者名簿を添え、在籍又は出身中学校長を経由して当校校長に提出する。

3 学力検査

- (1) 検査期日 令和5年3月7日(火)
- (2) 検査会場 本校全日制、本校定時制の志願者は本校で、最上校の志願者は最上校で受検する。
 検査当日、受検者の送迎等による本校敷地内への自家用車の乗り入れについては禁止する。
- (3) 集合時刻
 - ・本校全日制受検者は8時15分まで本校に集合すること。（開場7時40分）
 - ・本校定時制受検者は8時20分まで本校3年1組教室（教室棟3階）に集合すること。（開場7時40分）
 - ・最上校受検者は8時20分まで最上校多目的教室（3階）に集合すること。（開場7時40分）
- (4) 検査教科と時間

午 前		午 後	
8:50～9:40	国 語	12:50～13:40	理 科
10:00～10:50	数 学	14:00～14:50	外国語
11:10～12:00	社 会	（14:00から約10分間はリスニングテスト）	（英語）

- (5) 検査教科の配点

国語、社会、数学、理科、外国語（英語） 各100点
- (6) 受検者の携帯品
 - ① 受検票
 - ② 鉛筆（シャープペンシルを含む）、消しゴム、定規（三角・直定規のいずれでもよい）、コンパス、鉛筆削り

- (注) ・芯の濃さは2B、B、HBとし、シャープペンシルの芯の太さは0.5mm以上とする。
- ・公式や法則等の書いてある筆記用具、及び分度器又は分度器のついた定規を持参してはならない。
 - ・携帯電話・スマートフォン等の電子機器類や、電卓等の計算用具、計算機能・英単語表示機能・通信機能等の付いた腕時計を持参してはならない。
 - ・下敷きの使用は認めない。
 - ・その他、検査の公正を欠くおそれのある物を持参してはならない。
 - ・聴覚障がい者で補聴器を必要とする者は、使用してもよい。

③ 上履き、昼食

4 選抜における調査書の評定と学力検査の成績の比率

	調査書の評定	学力検査の成績
本校全日制	3	7
本校定時制	5	5
最 上 校	5	5

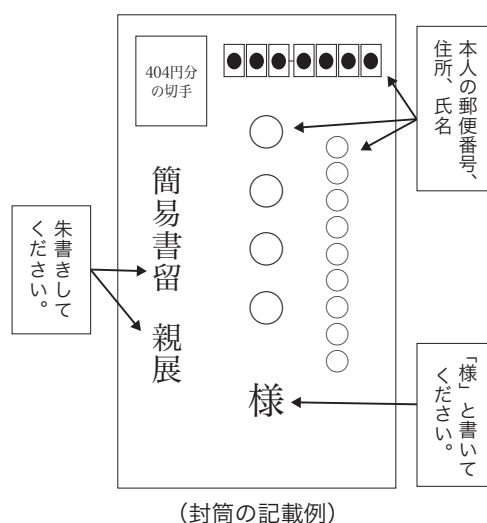
5 合格発表

- (1) 合格者の発表は、本校全日制、本校定時制については、令和5年3月17日(金)16時(予定)に、受検番号のWebへの公開と本校生徒昇降口前の掲示により行う。最上校については、令和5年3月17日(金)10時(予定)に、受検番号のWebへの公開と最上校生徒昇降口前の掲示により行う。ただし、Webへのアクセス方法については後日受検票とともに配布する。
- (2) 「合格通知書」は、合格者本人あてに郵送する。

6 個人情報の提供

受検者の個人情報(学力検査の教科別得点)の提供は、合格発表後郵送により行う。

個人情報(学力検査の教科別得点)の提供希望者は、入学願書に郵送による個人情報(学力検査の教科別得点)の提供希望の有無を記入の上、返信用定形長3号封筒(簡易書留郵便とし、出願者本人の住所・氏名を記入の上親展扱いとし、返信用切手404円分〔郵送料84円及び簡易書留料金320円分〕を貼ったもの)を出願時に提出すること。(右図参照)



7 追検査

(1) 対象者

志願者のうち、次の①～②のいずれかに該当し、3月7日実施の学力検査(以降、本検査という)の受検ができず、追検査の受検を希望する者。ただし、本検査を一部でも受検した者は、原則として追検査の対象とはならない。

- ① インフルエンザ等の感染症に罹患するなどし、本検査を受検できない者。
- ② 真にやむを得ない理由により、本検査を受検できない者。

(2) 受検の手続

- ① 追検査の受検を希望する者は、次のア～イの連絡等を行う。

ア 本検査が受検できないと判明したら、速やかに在籍又は出身中学校長に連絡する。

イ 上記(1)①の場合、医師の診断書を、上記(1)②の場合、本検査を受検できない理由を証明す

る書類を、在籍又は出身中学校長が定める期日まで在籍又は出身中学校長に提出する。

- ② 追検査の受検を希望する者の在籍又は出身中学校長は、次のア～エの連絡・報告を行う。

ア 3月6日(月)までに、追検査の対象者が確認された場合、対象者の中学校名・受検番号・氏名を、3月6日(月)15時までに当校校長へ電話連絡する。

イ ②のア以降、3月7日(火)本検査当日の集合時刻までに、本検査を受検できない志願者が新たに確認された場合、対象者の中学校名・受検番号・氏名を、当日できるだけ速やかに当校校長へ電話連絡する。

ウ ②のア、イに該当する生徒がいる場合、3月9日(木)15時までに、次の(ア)、(イ)の書類を当校校長あて提出する。なお、やむを得ない事情により期限までに提出できない場合は、提出期限まで当校校長に電話等で連絡した上で、速やかに提出する。

(ア) 追検査受検願

(イ) 医師の診断書又は本検査を受検できない理由を証明する書類

エ 対象者に対して受検にあたり、新たに特別な配慮が必要になった場合は、速やかにその旨を当校校長に連絡する。

- ③ 3月10日(金)までに、追検査の受検を許可する旨を、中学校長を通して志願者に連絡する。当校校長から中学校長への連絡は電話連絡とする。

(3) 追検査の内容及び日時等

- ① 学力検査について

内容は5ページの「3 学力検査」に準ずる。

- ② 検査日時

令和5年3月12日(日) 時間は本検査に同じ

- ③ 検査会場

本校全日制、本校定時制の志願者は本校で、最上校の志願者は最上校で受検する。

(4) 追検査の選抜における取扱い

追検査の結果と本検査の結果は同等に扱う。

8 その他

- (1) 事情がある場合には、学区外や県外から志願することができる。ただし、山形県教育委員会の許可が必要となる。詳細は中学校又は当校に問い合わせること。なお、本校定時制の場合は全県1学区となるため、県内から志願する場合は、山形県教育委員会の許可は必要ない。また、最上校の「山形県立高等学校小規模校入学者選抜における県外からの志願者受入れに関する要綱」による県外からの志願者の受入れは、推薦入学者選抜でのみ募集し、一般入学者選抜では募集しない。

(2) 志願制限

- ① 公立高等学校へは1人1校のみ志願できる。

- ② 本校全日制、本校定時制、及び最上校を同時に志願することはできない。

- ③ 本校全日制普通科探究コースを第1志望とする場合は、一般コースを第2志望とすることを認める。

(3) 国立諸学校に合格した志願者の取扱い

- ① 志願者の中で国立諸学校に合格した者がいる場合、在籍又は出身中学校長は、令和5年3月3日(金)12時までに、当校校長に対し、必ず文書で、国立諸学校への入学の諾否を報告する。

その際、合格した国立諸学校に入学する者については、当校の受検票を添付すること。

- ② 国立諸学校へ入学する旨報告があった志願者については選抜から除外する。

- (4) 推薦入学者選抜にもれた者の志願変更
他校の推薦入学の選抜にもれて、当校に志願変更する場合は、所定の手続きを経て出願すること。
- (5) 高等学校在学生の受検
高等学校に在籍のまま志願する場合は、在籍高等学校長の志願承諾書を添付すること。
- (6) 出願書類の請求
必要書類を請求する場合には、できるだけ中学校で一括し、本校全日制、本校定時制、最上校別に必要数を記入し請求すること（本校で受け付ける）。
- (7) 入学料（令和4年度徴収額）
本校全日制及び最上校 5,650円、本校定時制 2,100円（山形県収入証紙で納付）。
- (8) 合格者（入学）説明会
いずれも合格者・保護者を対象に実施予定。日程と詳細は「合格通知書」と共に送付される案内で確認のこと。
- | | | |
|---------------|--------------|----|
| 合格者説明会（本校全日制） | 令和5年3月24日（金） | 午前 |
| （最上校） | 令和5年3月23日（木） | 午後 |
| 入学説明会（本校定時制） | 令和5年3月27日（月） | 午後 |
- (9) その他
不明な点がある場合は、中学校を通して問い合わせること。

V 本校定時制における成人の志願者の選抜

1 志願資格

志願できる者は、「IV 一般入学者選抜」の「1 志願資格」（4ページ）に該当し、令和5年4月1日現在で18歳以上の者とする。

2 出願に必要な書類

- (1) 入学願書（用紙は当校で用意する）

入学者選抜手数料として950円の山形県収入証紙（消印をしない）を入学願書に貼る。

- (2) 出身中学校の卒業証明書

3 書類の提出

- (1) 受付期間

令和5年2月15日（水）から2月21日（火）まで本校事務室で受け付ける。受付時間は9時から17時までとする。ただし、2月21日（火）は12時までとする。郵送の場合でも締切日時までに必着とする。

- (2) 志願手続

志願者が、当校校長に提出する。郵送の場合は簡易書留郵便とし、出願者本人の住所・氏名を記入し、返信用切手404円分（郵送料84円及び簡易書留料金320円分）を貼った返信用定形長3号封筒を同封すること。

4 入学者選抜

選抜は、作文及び面接等に基づいて行う。

5 日 時

令和5年3月7日（火）8時20分まで本校3年1組教室（教室棟3階）に集合すること。
（開場7時40分）

6 作文

- (1) 作文（600字以上800字以内）を実施し、学力検査は行わない。
- (2) 受検者が個性を活かして取り組めるよう、複数の題材から選択できるようにする。
- (3) 時間 8時50分～9時40分

7 面接

- (1) 受検者の志願理由等を確認する。
- (2) 個人面接とし、10分程度とする。
- (3) 開始時刻 10時00分

8 受検者の携帯品

受検票、筆記用具、上履き

9 合格発表

- (1) 合格者の発表は、令和5年3月17日（金）16時（予定）に受検番号のWebへの公開と本校生徒昇降口前の掲示により行う。ただし、Webへのアクセス方法については後日受検票とともに配布する。
- (2) 「合格通知書」は、合格者本人あてに郵送する。

10 その他

不明な点がある場合は、直接当校に問い合わせること。

令和5年度入学者 山形県立新庄北高等学校 全日制普通科（一般コース） 教育課程表

◎必履修科目 ○選択必履修科目 ◇学校設定科目

教科	科目名 (開設年度)	標準単位数	1年	2年		3年		文科系 合計	理科系 合計	備考	
				文科系	理科系	文科系	理科系				
国語	現代の国語	2 ◎	2					2	2	3年次文科系選択は、①、②、③、④からそれぞれ1科目選択する。 選択群①は、「発展数学β」「発展音楽」「発展美術」「ライティング実践」から1科目選択する。 選択群②は、「コミュニケーション実践」「フードデザイン」「コンテンツの制作と発信」から1科目選択する。 選択群③は、「発展地理」「発展日本史」「発展世界史」「生物」「音楽Ⅱ」「美術Ⅱ」「生活探究」から1科目選択する。 選択群④は、「国語探究」「倫理」「ふるさと探究発展」から1科目選択する。	
	言語文化	2 ◎	2					2	2		
	論理国語	4		2	2	2	2	4	4		
	古典探究	4		3	2	3	3	6	5		
	国語探究 (H30)	◇				2④		0・2			
地理歴史	地理総合	2 ◎	2					2	2	3年次理科系選択は、⑤、⑥からそれぞれ1科目選択する。 選択群⑤は、「発展数学γ」「発展音楽」「発展美術」「ライティング実践」から1科目選択する。 選択群⑥は、「コミュニケーション実践」「フードデザイン」「コンテンツの制作と発信」から1科目選択する。 2年次は、文科系、理科系ともに「地理探究」「日本史探究」「世界史探究」から1科目選択し、3年次に継続履修とする。	
	地理探究	3		2	2	3	3	0・5	0・5		
	歴史総合	2 ◎	2					2	2		
	日本史探究	3		2	2	3	3	0・5	0・5		
	世界史探究	3		2	2	3	3	0・5	0・5		
	発展地理 (H28)	◇				2③		0・2			
	発展日本史 (H28)	◇				2③		0・2			
	発展世界史 (H30)	◇				2③		0・2			
公民	公共	2 ◎		2	2			2	2	3年次文科系選択③は、「発展地理」「地理探究」選択者、「発展日本史」は「日本史探究」選択者、「発展世界史」は「世界史探究」選択者が選択可能。	
	倫理	2				2④		0・2			
	政治・経済	2				2		2			
数学	数学Ⅰ	3 ◎	3					3	3	3年次理科系は、「数学Ⅲ・数学C」または「発展数学α・発展数学β」どちらかの組み合わせを選択する。	
	数学Ⅱ	4		4	4			4	4		
	数学Ⅲ	3					3		0・3	3年次理科系選択⑤の「発展数学γ」は、「数学Ⅲ及び数学C」選択者のみ選択可能。	
	数学A	2	2					2	2		
	数学B	2		2	2			2	2		
	数学C	2					2		0・2		
	発展数学α (H28)	◇				3	3	3	0・3		
	発展数学β (H28)	◇				2①	2	0・2	0・2		
	発展数学γ (H28)	◇					2⑤		0・2		
理科	物理基礎	2 ◎	2					2	2	2年次理科系は、「物理」「生物」から1科目選択し、3年次に継続履修とする。	
	物理	4			2		3		0・5		
	化学基礎	2 ◎		2	2			2	2	「化学」は、「化学基礎」を履修した後に履修する。	
	化学	4			1		3		4		
	生物基礎	2 ◎	2					2	2	2年次文科系は、「生物」「自然科学」から1科目選択する。	
	生物	4		2	2	2③	3	0・4	0・5		
	自然科学 (H30)	◇		2				0・2			「生物」は、2年、3年の継続履修とする。
自然科学探究 (H30)	◇				2		2				
保健体育	体育	7～8 ◎	3	2	2	2	2	7	7		
	保健	2 ◎	1	1	1			2	2		
芸術	音楽Ⅰ	2 ○	2					0・2	0・2	1年次は、「音楽Ⅰ」「美術Ⅰ」から1科目選択する。	
	音楽Ⅱ	2				2③		0・2			
	美術Ⅰ	2 ○	2					0・2	0・2		
	美術Ⅱ	2				2③		0・2			
	発展音楽 (H28)	◇				2①	2⑤	0・2	0・2		
	発展美術 (H28)	◇				2①	2⑤	0・2	0・2		
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3 ◎	3					3	3		
	英語コミュニケーションⅡ	4		4	4			4	4		
	論理・表現Ⅰ	2	2					2	2		
	論理・表現Ⅱ	2		2	2			2	2		
	ブラッシュアップ・イングリッシュ (H25)	◇				5	5	5	5		
	コミュニケーション実践 (R4)	◇				2②	2⑥	0・2	0・2		
	ライティング実践 (R4)	◇				2①	2⑤	0・2	0・2		
家庭	家庭基礎	2 ◎		2	2			2	2		
	生活探究 (H28)	◇				2③		0・2			
情報	情報Ⅰ	2 ◎	2					2	2		
共通教科の単位数合計				30	30	30	26～30	28～30	86～90	88～90	
専門(家庭)	フードデザイン	2～6					2②	2⑥	0・2	0・2	
専門(情報)	コンテンツの制作と発信	2～4					2②	2⑥	0・2	0・2	
専門教科の単位数合計				0	0	0	0～2	0～2	0～2	0～2	
地域探究 (学校設定教科)	ふるさと探究 (R2)	◇	1					1	1	「ふるさと探究」は、年間を通して計画的に実施する。	
	ふるさと探究発展 (R4)	◇					2④		0・2		
	Myエリア・ラーニング(R2)	◇	修得単位は各年次0～2単位の合計0～2単位					0～2	0～2		
総合的な探究の時間			3～6 ◎	1	1	1	1	3	3	「総合的な探究の時間」は、毎週火曜日7校時に位置付け、計画的に実施する。	
合計				32～34	31～33	31～33	31～33	31～33	94～96		94～96
卒業までに修得すべき単位数			80								
特別活動	ホームルーム活動		1	1	1	1	1	3	3	毎週木曜日7校時に位置付ける。	
	生徒会活動(時間)		42	42	42	42	42	126	126		
		新入生歓迎会4 校歌練習3 生徒総会(前期・後期)3 壮行式3 運動会総練習6 運動会6 文化祭12 等									
	学校行事(時間)		19	48	48	17	17	84	84		
	授業の1単位時間		50分								
			入学式2 始業式3 終業式3 修学旅行30 卒業式3 芸術鑑賞3 等								

令和5年度入学者 山形県立新庄北高等学校 全日制普通科（探究コース） 教育課程表

◎必修科目 ○選択必修科目 ◇学校設定科目

教科	科目名 (開設年度)	標準単位数	1年	2年		3年		文科系 合計	理科系 合計	備考	
				文科系	理科系	文科系	理科系				
国語	現代の国語	2 ◎	2					2	2	3年次文科系選択は、①、②、③からそれぞれ1科目選択する。 選択群①は、「発展数学β」「発展音楽」「発展美術」「ライティング実践」から1科目選択する。 選択群②は、「コミュニケーション実践」「コンテンツの制作と発信」から1科目選択する。 選択群③は、「発展地理」「発展日本史」「発展世界史」「生物」「音楽Ⅱ」「美術Ⅱ」「生活探究」から1科目選択する。	
	言語文化	2 ◎	2					2	2		
	論理国語	4		2	2	2	2	4	4		
	古典探究	4		3	2	2	2	5	4		
	国語探究 (H30)	◇				2		2			
地理歴史	地理総合	2 ◎	2					2	2	3年次理科系選択は、④、⑤からそれぞれ1科目選択する。 選択群④は、「発展数学γ」「ライティング実践」から1科目選択する。 選択群⑤は、「理科課題研究」「コミュニケーション実践」「コンテンツの制作と発信」から1科目選択する。	
	地理探究	3		2	2	3	3	0・5	0・5		
	歴史総合	2 ◎	2					2	2		
	日本史探究	3		2	2	3	3	0・5	0・5		
	世界史探究	3		2	2	3	3	0・5	0・5		
	発展地理 (H28)	◇				2 ③		0・2			
	発展日本史 (H28)	◇				2 ③		0・2			
	発展世界史 (H30)	◇				2 ③		0・2			
公民	公共	2 ◎		2	2			2	2	3年次文科系選択③は、「発展地理」は「地理探究」選択者、「発展日本史」は「日本史探究」選択者、「発展世界史」は「世界史探究」選択者が選択可能。 3年次文科系は、「倫理」「政治・経済」から1科目選択する。	
	倫理	2				2		0・2			
	政治・経済	2				2		0・2			
数学	数学Ⅰ	3 ◎	3					3	3	3年次理科系は、「数学Ⅲ・数学C」または「発展数学α・発展数学β」どちらかの組み合わせを選択する。	
	数学Ⅱ	4		4	4			4	4		
	数学Ⅲ	3					3		0・3	3年次理科系選択④の「発展数学γ」は、「数学Ⅲ及び数学C」選択者のみ選択可能。	
	数学A	2	2					2	2		
	数学B	2		2	2			2	2		
	数学C	2					2		0・2		
	発展数学α (H28)	◇				3	3	3	0・3		
	発展数学β (H28)	◇				2①	2	0・2	0・2		
	発展数学γ (H28)	◇					2④		0・2		
理科	物理基礎	2 ◎	2					2	2	2年次理科系は、「物理」「生物」から1科目選択し3年次に継続履修とする。	
	物理	4			2		3		0・5		
	化学基礎	2 ◎		2	2			2	2	「化学」は、「化学基礎」を履修した後に履修する。	
	化学	4			1		3		4		
	生物基礎	2 ◎	2					2	2	2年次文科系は、「生物」「自然科学」から1科目選択する。	
	生物	4		2	2	2③	3	0・4	0・5		
	自然科学 (H30)	◇		2				0・2		「生物」は、2年、3年の継続履修とする。	
	自然科学探究 (H30)	◇				2		2			
理科課題研究 (R4)	◇					2⑤		0・2			
保健体育	体育	7～8 ◎	3	2	2	2	2	7	7	1年次は、「音楽Ⅰ」「美術Ⅰ」から1科目選択する。	
	保健	2 ◎	1	1	1			2	2		
芸術	音楽Ⅰ	2 ○	2					0・2	0・2		
	音楽Ⅱ	2				2 ③		0・2			
	美術Ⅰ	2 ○	2					0・2	0・2		
	美術Ⅱ	2				2 ③		0・2			
	発展音楽 (H28)	◇				2 ①		0・2			
	発展美術 (H28)	◇				2 ①		0・2			
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3 ◎	3					3	3		
	論理・表現Ⅰ	2	2					2	2		
	コミュニケーション実践 (R4)	◇				2 ②	2 ⑤	0・2	0・2		
	ライティング実践 (R4)	◇				2 ①	2 ④	0・2	0・2		
家庭	家庭基礎	2 ◎		2	2			2	2		
	生活探究 (H28)	◇				2 ③		0・2			
情報	情報Ⅰ	2 ◎	2					2	2		
共通教科の単位数合計			30	24	24	22～24	22～24	76～78	76～78		
専門(英語)	総合英語Ⅱ	4～6		6	6			6	6		
	総合英語Ⅲ	4～6				6	6	6	6		
専門(情報)	コンテンツの制作と発信	2～4				2 ②	2 ⑤	0・2	0・2		
専門教科の単位数合計				0	6	6	6～8	6～8	12～14	12～14	
地域探究 (学校設定教科)	ふるさと探究 (R2)	◇	1					1	1	「ふるさと探究」は、年間を通して計画的に実施する。	
	Myエリア・ラーニング(R2)	◇	修得単位は各年次0～2単位の合計0～2単位						0～2		0～2
総合的な探究の時間			3～6 ◎	1	2	2	1	1	4	4	「総合的な探究の時間」は、毎週火曜日7校時に位置付ける。2年次2単位のうち1単位分は、年間を通して計画的に配置する。
合計				32～34	32～34	32～34	31～33	31～33	95～97	95～97	
卒業までに修得すべき単位数			80								
特別活動	ホームルーム活動		1	1	1	1	1	3	3	毎週木曜日7校時に位置付ける。	
	生徒会活動(時間)		42	42	42	42	42	126	126		
			新入生歓迎会4 校歌練習3 生徒総会(前期・後期)3 壮行式3 運動会総練習6 運動会6 文化祭12 等								
	学校行事(時間)		19	48	48	17	17	84	84		
		入学式2 始業式3 終業式3 修学旅行30 卒業式3 芸術鑑賞3 等									
授業の1単位時間			50分								

令和5年度入学者 山形県立新庄北高等学校 定時制 教育課程表

教科	科目	標準 単位数		年次別単位数				計	備考
				1年次	2年次	3年次	4年次		
国語	現代の国語	2	◎	2				2	
	言語文化	2	◎		2			2	
	文学国語	4				4		4	
	論理国語	4				霞4・庄4	4	0・4	霞城学園高校通信制併修・庄内総合高校通信制併修 現代の国語・言語文化履修後の3年次に履修可能
	国語表現	4				霞4		0・4	霞城学園高校通信制併修 現代の国語・言語文化履修後の3年次に履修可能
	古典探究	4				庄4		0・4	庄内総合高校通信制併修 現代の国語・言語文化履修後の3年次に履修可能
地理 歴史	地理総合	2	◎		3			3	
	歴史総合	2	◎			3		3	
	地理探究	3				庄3		0・3	庄内総合高校通信制併修 地理総合を履修後の3年次に履修可能
公民	公共	2	◎	2				2	
	政治・経済	2			霞2・庄2		3	0・2・3	霞城学園高校通信制・庄内総合高校通信制併修
	倫理	2			霞2・庄2			0・2	霞城学園高校通信制・庄内総合高校通信制併修
数学	数学Ⅰ	3	◎	3	2			5	
	数学Ⅱ	4				3	3	3・6	
	数学A	2			霞2・庄2			0・2	霞城学園高校通信制併修・庄内総合高校通信制併修
	数学B	2			庄2			0・2	庄内総合高校通信制併修
理科	科学と人間生活	2	○	3				3	「科学と人間生活」を含む2科目、またはその他3科目が必修。
	化学基礎	2	○		2			2	
	生物基礎	2	○			2		2	
	地学基礎	2	○		霞2		3	0・2・3	霞城学園高校通信制併修
	物理基礎	2			霞2・庄2			0・2	霞城学園高校通信制併修・庄内総合高校通信制併修
	物理	4				庄4		0・4	庄内総合高校通信制併修 物理基礎を履修後の3年次に履修可能
	化学	4				霞4・庄4		0・4	霞城学園高校通信制併修・庄内総合高校通信制併修 化学基礎を履修後の3年次に履修可能
保健 体育	体育	7～8	◎	2	2	3	2	7・9	
	保健	2	◎	1	1			2	
芸術	音楽Ⅰ	2	○		*2			0・2	3科目中1科目を選択 3科目中1科目必修
	美術Ⅰ	2	○		*2			0・2	
	書道Ⅰ	2	○		*2			0・2	庄内総合高校通信制併修 本校で音楽Ⅰ、美術Ⅰを履修した場合に書道Ⅰは履修可能
				庄2					
	音楽Ⅱ*	2				霞2		0・2	霞城学園高校通信制併修 本校で○○Ⅰを履修した後に同一名称の○○Ⅱを3年次に履修可能
	美術Ⅱ*	2				霞2		0・2	
	書道Ⅱ*	2				霞2		0・2	
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	◎	3	2			5	
	英語コミュニケーションⅡ	4				3	3	3・6	
	論理・表現Ⅰ	2			霞2・庄2			0・2	霞城学園高校通信制併修・庄内総合高校通信制併修
家庭 (共通)	家庭基礎	2	◎		2			2	
家庭 (専門)	保育基礎	2～6			霞3・庄4			0・3・4	霞城学園高校通信制併修・庄内総合高校通信制併修
	フードデザイン	2～6			霞3・庄4			0・3・4	霞城学園高校通信制併修・庄内総合高校通信制併修
情報	情報Ⅰ	2	◎	2				2	
総合的な探究の時間		3～6	◎	1	1	1	1	3・4	創造と探求
合 計				19	19～29	19～29	19	74～77	
卒業までに修得すべき単位数				74					
特別 活動	ホームルーム活動			1	1	1	1	4	毎週火曜日4校時
	生徒会活動（時間）			27	27	27	27	108	生徒会対面式、校歌練習、部登録、生徒総会（前期、後期）、県定通総体結団式、勤労感謝祭、部活動のまとめ、文集作成、スノーラントアン祭、卒業生を送る会
			58	58	58	58	232		
学校行事（時間）				入学式、新任式、1学期始業式、オリエンテーション、身体計測、ネット講話、食の講話、防災訓練・救急法講習会、県定通総体、薬物乱用防止講話、交通安全講話、薄暮運動会、保健講話、1学期終業式、2学期始業式、生活講話、2学期終業式、3学期始業式、卒業式、3学期終業式、離任式					
授業の1単位時間				45分					

「◎」は必修科目、「○」は選択必修科目

「*」は3科目から1科目を選択履修

山形県立霞城学園高等学校通信制、山形県立庄内総合高等学校通信制との併修はどちらかの高等学校の通信制を選択する。

両校の併修については、2年次に10単位まで、3年次に10単位まで履修が可能である。

山形県立霞城学園高等学校通信制併修科目「※」は○○Ⅰを履修した後に同一名称の○○Ⅱを3科目から1科目を選択履修が可能である。

令和5年度入学者 山形県立新庄北高等学校 最上校 教育課程表

類型名称				学年別単位数									備 考	
教科	科目	標準 単位数		全コース共通		3 年			計					
				1 年	2 年	福祉コー ス	進学コー ス	教養コー ス	福祉コー ス	進学コー ス	教養コー ス			
(必修修科目◎、選択必修修科目○、学校設定科目●)														
国語	現 代 の 国 語	2	◎	2					2	2	2	1 年 芸術 「美術Ⅰ」、「書道Ⅰ」から1科 目選択		
	言 語 文 化	2	◎	2					2	2	2			
	論 理 国 語	4			2	2	2	2	4	4	4			
	文 学 国 語	4			2	2	2	2	4	4	4			
	国 語 表 現	4					2			2				
地理歴史	地 理 総 合	2	◎			2	2	2	2	2	2			
	歴 史 総 合	2	◎		3				3	3	3			
公民	公 共	2	◎	2					2	2	2			
	政 治 ・ 経 済	2				2	2	2	2	2	2			
数学	数 学 Ⅰ	3	◎	4	1				5	5	5		2 年 芸術 1年時に「美術Ⅰ」を選択した生 徒は「美術Ⅱ」を、「書道Ⅰ」を 選択した生徒は「書道Ⅱ」を選択	
	数 学 Ⅱ	4			2	2	2	2	4	4	4			
	数 学 A	2					3			3				
理科	科 学 と 人 間 生 活	2	○	3					3	3	3			
	化 学 基 礎	2	○				3	3		3	3			
	生 物 基 礎	2	○		3				3	3	3			
保健体育	体 育	7～8	◎	3	3	3	3	3	9	9	9			
	保 健	2	◎	1	1				2	2	2			
芸術	美 術 Ⅰ	2	○	2					0・2	0・2	0・2			
	美 術 Ⅱ	2			2				0・2	0・2	0・2			
	書 道 Ⅰ	2	○	2					0・2	0・2	0・2			
	書 道 Ⅱ	2			2				0・2	0・2	0・2			
外国語	英 語 コミュニケーションⅠ	3	◎	3					3	3	3			
	英 語 コミュニケーションⅡ	4			3	3	3	3	6	6	6			
	論 理 ・ 表 現 Ⅰ	2					2			2				
家庭	家 庭 総 合	4	○	2	2				4	4	4			
情報	情 報 Ⅰ	2	◎	2					2	2	2			
商業	情 報 処 理	2～6			2				2	2	2			
	ネ ッ ト ワ ー ク 活 用	2～4						2			2			
専門	生 活 と 福 祉	2～4				3			3					
家庭	フ ー ド デ ザ イ ン	2～6				3		3	3		3			
福祉	社 会 福 祉 基 礎	2～6				4			4					
体育	ス ポ ー ツ Ⅱ	2～6						2			2			
リラー ニング	リ ラ ー ニ ン グ A		●	2					2	2	2			
	リ ラ ー ニ ン グ B		●		2				2	2	2			
	リ ラ ー ニ ン グ C		●			2	2	2	2	2	2			
学校外 体 験	技 能 審 査		●	校長が認める各種検定・資格試験合格者について当該科目の増単を認定する。（各学年上限6単位）										
	体 験 活 動		●	校長が認める（35時間以上の）地域貢献活動について各学年1単位の修得を認定する。										
総 合 的 な 探 究 の 時 間				3～6	◎	1	1	1	1	1	3	3	3	
合 計						29～36	29～36	29～36	29～36	29～36	87～108	87～108	87～108	
卒業までに修得すべき単位数						74								
特別活動	ホームルーム活動(単位数)				1	1	1	1	1	3	3	3	月曜日6校時	
	生徒会活動(時間)				10	10	10	10	10	30	30	30		
					生徒会対面式、クラスマッチ、立会演説会、生徒会総会									
					69	96	71	71	71	236	236	236		
学校行事(時間)					新任式、1学期始業式、入学式、新入生オリエンテーション、身体測定、避難訓練、運動会、1学期終業式、2学期始業式、芸術鑑賞、地域貢献日、文化祭、2学年修学旅行、2学期終業式、3学期始業式、表彰式、卒業式、修了式、離任式、大掃除									
授業の1単位時間					50分									

〔参考〕 諸経費納入額（年額）

（令和4年度の例）（単位：円）

	本校全日制	本校定時制	最上校
※① 授業料	118,800	30,780	118,800
P T A 会費	6,000		7,260
生徒会費	12,600	6,000	13,800
教育後援会費	8,400	3,000	
年次諸経費		36,500	
体育後援会費	9,600		6,780
給食費		74,100	
協力会費			6,180
修学旅行積立	※② 50,000		※② 60,000
合 計	205,400	150,380	212,820

（注）授業料以外の学校徴収金は、本校全日制・最上校は5月～11月、本校定時制は5月～9月・11月・1月の7回に分けて口座振替されます。

※① 就学支援金制度の対象となる生徒は、原則、授業料の納付が不要です。詳しくは、別添のお知らせをご覧ください。

※② 予定額です。

〔参考〕 入学時における経費

（令和4年度の例）（単位：円）

	本校全日制	本校定時制	最上校
入学料	5,650	2,100	5,650
教科書	音楽選択の場合 11,039 美術選択の場合 11,754	5,234	美術選択の場合 20,822 書道選択の場合 20,889
学習図書等	音楽選択の場合 79,983 美術選択の場合 79,983		
制服	男 約 35,000 女 約 50,000		男 約 60,000 女 約 55,000
その他の諸経費	男 22,450 女 20,860	11,770	男 約 66,500 女 約 65,000

（注）本校全日制的「学習図書等」には模擬試験代金等を含みます。

本校定時制の「学習図書等」は「年次諸経費」に含まれます。

本校全日制、本校定時制、最上校とも、「その他の諸経費」には、運動着代金等を含みます。

奨学金について

○本校全日制、本校定時制及び最上校

山形県高等学校奨学金 18,000円（月額・自宅通学）・23,000円（月額・自宅外）

希望者の中から選考して貸与されます。

○本校定時制

山形県高等学校定時制通信制修学資金 14,000円（月額）

勤労生徒の希望者で要件を備える者に貸与され、卒業すれば返還が免除されます。

推薦入学願書

山形県収入証紙
(消印無効)

令和 年 月 日

山形県立新庄北高等学校長 殿

ふりがな	
本人氏名	
保護者氏名	

貴校(最上校)全日制の課程 普通科に入学を志願いたします。

本人	生年月日	平成 年 月 日	保護者 現住所	
	現住所	〒		
	在学 学籍校		備考	
	卒業見込 年 月	令和 年 月 卒業見込		

(注) 推薦入学願書・受検票記入上の注意

- ペン書き又はボールペン書き(青色又は黒色)で本人が記入する。
- 保護者氏名は保護者が記入する。
- 現住所は、丁目・番・号、大字・字・番地まで正確に記入する。
- 現住所について、住民票には記載されないアパート名等については、備考欄に記入する。
- 保護者の現住所が本人と同じ場合、「本人に同じ」と記入する。
- 合格通知を受けようとする場所は、原則として現住所とする。現住所と異なる場合は、備考欄にその住所を記入し、記入する事項のない場合は、右上がりの斜線を引く。

印

推薦入学者選抜 受検票

受検番号

氏 名

山形県立新庄北高等学校

学 校 名

校 長 高 橋 剛 文 印

--	--

令和 年 月 日

本人氏名

1 志願の理由(地域協働に係る要件)

[illegible]

下記の要件の中で該当するすべてに○を付けなさい。

- 2 成績評定概況に係る要件
() 評定合計が23以上の者
- 3 特別活動に係る要件
() 部活動や生徒会活動等において主体的に活動した者
- 4 校外活動に係る要件
() ボランティア活動や奉仕活動等において主体的に活動した者

留意事項：ペン書き又はボールペン書き（青色又は黒色）で本人が記入すること。

自己推薦書記入上の注意

自己推薦書は、あなたが志願する学校での学習への強い志望や意欲があるかどうか確認することを主な目的として提出するもので、面接において、志願者の志望動機等を確認する際の資料として用います。また、出願要件に合致していない場合は出願できません。

1 志願の理由(地域協働に係る要件)の記入について

志望する学校に対する志願動機や目的意識、興味・関心を持っていることなどについて記入してください。

2 地域協働に係る要件以外の出願要件の記入について

枠の中には、あなたが志願する学科の地域協働に係る要件以外の出願要件が示されています。説明をよく読んで該当するすべてに○を付けてください。

〔注意〕

- (1) 募集要項で志願する高校の出願要件を確認すること
- (2) (1) の際、特に成績評定概況に係る要件や特別活動に係る要件などが出願要件に合致しているか、在籍の中学校をとおして確認すること

3 記入上の留意点

- (1) 必ず本人が記入してください。
- (2) ペン又はボールペンで記入してください。
- (3) インクの色は青色か黒色を使用してください。
- (4) 誤りを訂正する際は、その部分に二重線を引き、上部にあらためて記入してください。

令和5年度 山形県公立高等学校入学者選抜

一般入学願書

山形県収入証紙

(消印無効)

令和 年 月 日

山形県立新庄北高等学校長 殿
貴校全日制の課程普通科

	第1志望	第2志望
A	探究コース	一般コース
B	探究コース	
C	一般コース	

ふりがな	
本人氏名	
保護者氏名	

○で囲んだパターンでの入学を志願いたします。

本人	生年月日	平成 年 月 日	保護者 現住所	
	現住所	〒		
	出身(在籍)学 校		備考	
	卒業 (卒業見込) 年 月 日	平成 年 月 日 卒業 令和 卒業見込 (いずれかを○で囲むこと)		

※ 郵送による個人情報(学力検査の教科別得点)の提供希望 有 (個人情報の提供を希望する場合は○を付ける)

(注) 一般入学願書・受検票記入上の注意

- ペン書き又はボールペン書き(青色又は黒色)で本人が記入する。
- 保護者氏名は保護者が記入する。
- 志望するコースのパターンA・B・Cのいずれかを○で囲む。
- 現住所は、丁目・番・号、大字・字・番地まで正確に記入する。
- 現住所について、住民票には記載されないアパート名等については、備考欄に記入する。
- 保護者の現住所が本人と同じ場合、「本人に同じ」と記入する。
- 合格通知を受けようとする場所は、原則として現住所とする。現住所と異なる場合は、備考欄にその住所を記入し、記入する事項のない場合は、右上がりの斜線を引く。

印

令和5年度 山形県公立高等学校入学者選抜

一般入学者選抜 受検票

受検番号

氏 名

山形県立新庄北高等学校

学 校 名

校 長 高 橋 剛 文 印

山形県収入証紙

(消印無効)

一般入学願書

令和 年 月 日

山形県立新庄北高等学校長 殿

ふりがな	
本人氏名	
保護者氏名	

貴校定時制の課程 普通科に入学を志願いたします。

本人	生年月日	平成 年 月 日	保護者 現住所	
	現住所	〒		
	出身(在籍) 学 校		備 考	
	卒業 (卒業見込) 年 月 日	平成 年 月 日 卒業 令和 年 月 日 卒業見込 (いずれかを○で囲むこと)		

※ 郵送による個人情報(学力検査の教科別得点)の提供希望 有 (個人情報の提供を希望する場合は○を付ける)

(注) 一般入学願書・受検票記入上の注意

- ペン書き又はボールペン書き(青色又は黒色)で本人が記入する。
- 保護者氏名は保護者が記入する。
- 現住所は、丁目・番・号、大字・字・番地まで正確に記入する。
- 現住所について、住民票には記載されないアパート名等については、備考欄に記入する。
- 保護者の現住所が本人と同じ場合、「本人に同じ」と記入する。
- 合格通知を受けようとする場所は、原則として現住所とする。現住所と異なる場合は、備考欄にその住所を記入し、記入する事項のない場合は、右上がりの斜線を引く。
- 成人の志願者は、保護者氏名、保護者現住所は右上がり斜線も含め記入しない。

印

一般入学者選抜 受 検 票

受 検 番 号

氏 名

山形県立新庄北高等学校

学 校 名

校 長 高 橋 剛 文 印

令和5年度 山形県公立高等学校入学者選抜

一般入学願書

山形県収入証紙

(消印無効)

令和 年 月 日

山形県立新庄北高等学校長 殿

ふりがな	
本人氏名	
保護者氏名	

貴校(最上校)全日制の課程 普通科に入学を志願いたします。

本人	生年月日	平成 年 月 日	保護者 現住所	
	現住所	〒		
	出身(在籍) 学 校		備考	
	卒業 (卒業見込) 年 月 日	平成 年 月 日 卒業 令和 年 月 日 卒業見込 (いずれかを○で囲むこと)		

※ 郵送による個人情報(学力検査の教科別得点)の提供希望 有 (個人情報の提供を希望する場合は○を付ける)

(注) 一般入学願書・受検票記入上の注意

- ペン書き又はボールペン書き(青色又は黒色)で本人が記入する。
- 保護者氏名は保護者が記入する。
- 現住所は、丁目・番・号、大字・字・番地まで正確に記入する。
- 現住所について、住民票には記載されないアパート名等については、備考欄に記入する。
- 保護者の現住所が本人と同じ場合、「本人に同じ」と記入する。
- 合格通知を受けようとする場所は、原則として現住所とする。現住所と異なる場合は、備考欄にその住所を記入し、記入する事項のない場合は、右上がりの斜線を引く。

印

令和5年度 山形県公立高等学校入学者選抜

一般入学者選抜 受検票

受検番号

氏 名

山形県立新庄北高等学校

学 校 名

校 長 高 橋 剛 文 印